

も、高齢者の増加によりほとんどが制度的に行き詰まります。それは、現在行っていることは、若者を高齢者のケアのために働かせ、これに必要な経費を保険料や税金で若い世代からとるということであり、若い世代を痛めつけ、まさに子育てをする余裕を失わせるものだからです。ですから、**制度の根本を比較的若い高齢者による、高齢者のケアに切り替えていかざるを得ないのです。**そのためには福祉制度全般に手を入れる必要があります

## 大阪でG20

G20サミットには総計で世界のGDPの8割以上を占める国々が参加し、世界の経済成長と繁栄のために大きな役割を果たしています。日本がG20サミットの議長国を務めるのは今回が初めてであり、日本が主催するサミットとしては史上最大規模と



なります。そして今年は大阪市で行われる首脳会合だけでなく、時期をずらし、北海道・新潟・茨城・長野・岡山・福岡・愛媛で、観光大臣会合・農業大臣会合・エネルギー・地球環境関係閣僚会合など、8つの大臣級会合と、B20(ビジネス)L20(労働組合)C20(市民社会)T20(シンクタンク)S20(科学者)W20(女性)など、民間団体が行う関連行事もあります。

昨年アルゼンチン・ブエノスアイレスで行われたG20においては、保護主義の問題、仮想通貨の問題、電子経済についての国際課税の問題などが話し合われました。今回のG20がどのような議題で行われるかについては未定ですが、注目されるのは、**気候変動や貧困、疾病などの地球規模の問題への対策資金を創出するための資金メカニズム**についての程度話し合われるかです。この資金メカニズム

すが、そのための費用は地域通貨をバージョンアップした、日本の第二通貨で賄うべきだ、というのが、私が今回の著作で訴えたことであり、吹田市でも実験的に地域通貨を発行・強化して、段階的にこの方向でサービスを作り替えていく必要があります。まだ働ける高齢者に第二通貨で運営されるさまざまな仕事をもっていただくことは、高齢者が孤立せず、社会的に包摂されることでもあります。

の中心が「国際連帯税」であり、グローバルな活動によって利益を得ている人たちに課税し、不利益を被っている人たちに税収を回すという発想から生まれたもので、「航空券税」として第一号が実現しています。日本にも超党派の「国際連帯税」議員同盟が設立されており、「通貨取引税」も議論されています。

私がかねてから提唱しているのが、**世界の化石資源を買い集めて世界的に管理する化石資源の世界的な専売公社(世界みどり公社)**で、専売収入をSDGsの実現に向けた世界資金にするというものです。詳しくは、是非私の著書「パリ協定と世界みどり公社」をお読みください。

## 山口克也のプロフィール

1963年吹田市生まれ 東大法卒、ルイジアナ大 MBA、東北大学大学院 環境科学研究科博士後期課程中退 住友化学、吹田市議二期、日本国際連合協会関西本部会員、大阪ユネスコ協会会員 環境経済 - 政策学会会員、日本環境学会会員  
いて座・A型・家族 妻 一女二男

## 連絡先

山口総合政策研究所  
〒564-0051 吹田市豊津町25-12  
TEL : 06-6330-6721  
FAX : 06-6369-3734  
Mail : katsuya1201@u01.gate01.com

